

タダノ セルフクレーン  
TM-ZF503SL(H)型  
(フック・イン方式)  
仕 様 書

スペック番号 TM-50Z-3-322

株式会社 タダノ

管理番号 JA-03

## TM-ZF503SL (H) 型 セルフクレーン

### 1. 主要諸元

クレーン容量	2.93 t × 3.55 m (4本掛)
最大作業半径	8.04 m
最大地上揚程	約 10.1 m
ブーム長さ	3.47 m ~ 8.26 m
ブーム伸ばし速度	4.79 m/18 s
旋回角度	360° 連続
旋回速度	2.0 rpm
ブーム起伏角度	1° ~ 78°
ブーム上げ速度	1° ~ 78° /12 s
フック巻上げ速度	18 m/min (4層、4本掛)
ブーム形式	五角形3段油圧順次伸縮式
ブーム伸縮装置	複動油圧シリンダ直押式 2本
ブーム起伏装置	複動油圧シリンダ押上式
旋回装置	油圧モータ駆動ウォーム・平歯車減速式 (ボールベアリング支持) 旋回自動ロック付
巻上装置	油圧モータ駆動平歯車減速式 メカニカルブレーキ
ワイヤロープ	径 8 mm × 長さ 56 m 7 × 7 + 6 × WS (26)
フック格納装置	フック・イン (ブーム先端フック格納) 方式
アウトリガ	複動油圧シリンダ直押式 (油圧張出式) 最大張出幅 3.4 m、中間張出幅 2.65 m、最小張出幅 2.17 m ジャッキストローク 1,400 mm
油圧ポンプ	ギヤポンプ
作動油タンク容量	48.5 ℓ
アクセル方式	オートアクセル (操作レバー連動アクセル機構) 及び単独アクセル
安全装置	荷重計、荷重指示計、巻過自動停止装置 (警報機能付)、P. T. O. 作動確認ランプ、玉掛けロープはずれ止め、警報ブザー、油圧安全弁、油圧シリンダロック装置、アウトリガフロート降下防止装置、アウトリガジャッキ同調伸縮装置

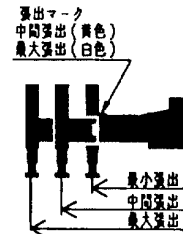
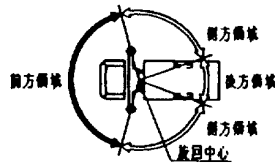
(注) 各速度は、無負荷、ポンプ吐出量 60 ℓ/min の場合の値を示します。

## 2. 空車時定格総荷重表

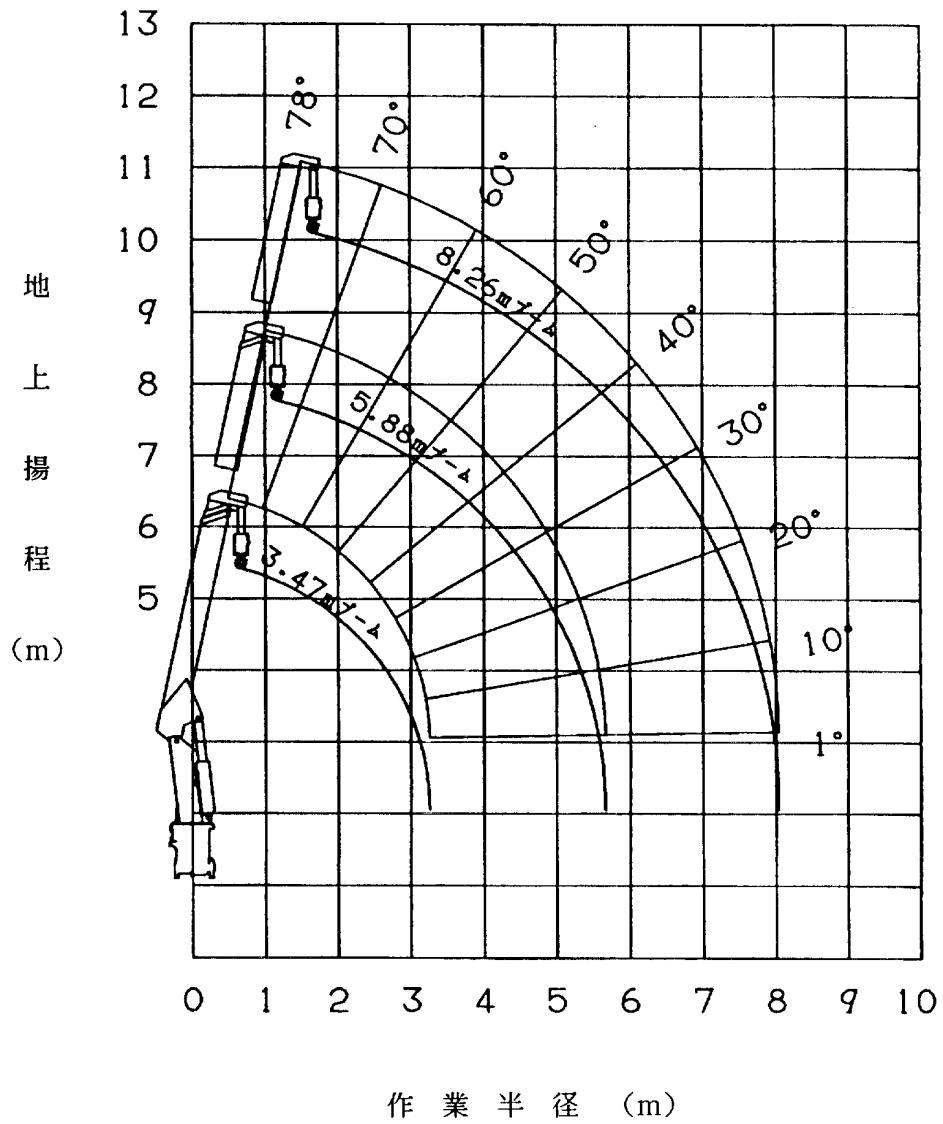
単位 (t)

作業半径 (m)	空車時定格総荷重 (後方・側方吊り)					
	アウトリガ最大張出			アウトリガ最小張出		
	A	B	C	A	B	C
2.4 以下	—	2.93	—	—	2.93	—
2.5 以下	—	—	2.93	—	—	2.23
2.8 以下	2.93	—	—	2.93	—	—
3.0	2.93	2.93	—	2.58	2.13	—
3.1	—	—	2.93	—	—	1.58
3.55	2.93	2.93	2.28	2.0	1.63	1.23
4.0	2.58	2.43	1.78	1.68	1.38	1.03
4.5	2.23	1.98	1.48	1.43	1.18	0.88
5.0	1.98	1.68	1.28	1.23	1.0	0.75
5.5	1.78	1.48	1.1	1.08	0.88	0.65
6.0	1.58	1.3	0.98	0.98	0.78	0.58
6.5	1.43	1.18	0.88	0.88	0.7	0.53
7.0	1.28	1.05	0.78	0.8	0.63	0.48
7.5	1.18	0.98	0.73	0.73	0.58	0.43
8.04	1.13	0.9	0.65	0.68	0.53	0.4

- (注) 1. 本表は、水平堅土上にアウトリガを使用してクレーンを水平に設置したときの性能であり、つり具等の重量 (フック重量 30 kg) を含んだ値を示します。  
 2. 空車時定格総荷重はクレーンの強度及び車両の安定度に基づいています。  
 3. 本表の作業半径は、負荷時のたわみを含んだ実際の作業半径を示します。  
 4. アウトリガ中間張出時は、アウトリガ最小張出の性能で作業してください。  
 5. 前方領域で作業するときは、空車時定格総荷重の 25%以下で作業してください。  
 6. 車体傾斜時のクレーン作業は禁止します。  
 7. 車体傾斜はアウトリガを引き出さずに行ってください。  
 8. 空車時定格総荷重は、架装車により異なります。  
 (表のAは10トン車クラス、Bは8トン車クラス、Cは6トン車クラスの場合を示します。)



### 3. 作業半径 - 揚程図



(注) 本図はブームのたわみを含んでいません。

4. 外觀圖

